



<定点把握感染症>

疾患名	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~26週
	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)	(45)			(10)			(10)			(4)			(9)			(12)						
インフルエンザ	6 0.00	1 0.02	▽																1 0.08		▽	5
小児科定点 (定点医療機関数)	(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)						
RSウイルス感染症	1828 0.58																					3
咽頭結膜熱	1339 0.43	18 0.62	29 1.00	△	5 0.83	7 1.17	△	7 1.00	5 0.71	▽			6 1.00	17 2.83	▲							276
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1089 0.35	11 0.38	4 0.14	▽		1 0.17	△	5 0.71		▽			6 1.00	3 0.50	▽							334
感染性胃腸炎	16675 5.31	119 4.10	107 3.69	▽	25 4.17	26 4.33	△	36 5.14	36 5.14		9 3.00	7 2.33	▽	33 5.50	21 3.50	▽	16 2.29	17 2.43	△			5155
水痘	260 0.08	3 0.10	3 0.10		1 0.17		▽	1 0.14		▽			1 0.17	1 0.17					2 0.29	△		60
手足口病	1881 0.60	3 0.10	5 0.17	▲				3 0.43	1 0.14	▽				4 0.67	△							37
伝染性紅斑	45 0.01																					7
突発性発しん	1265 0.40	14 0.48	15 0.52	▲	1 0.17	4 0.67	▲	1 0.14	3 0.43	△	5 1.67	2 0.67	▽	3 0.50	3 0.50		4 0.57	3 0.43	▽			309
ヘルパンギーナ	451 0.14	2 0.07	3 0.10	△										2 0.33	3 0.50	▲						40
流行性耳下腺炎	114 0.04		1 0.03	△															1 0.14	△		10
眼科定点 (定点医療機関数)	(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)						
急性出血性結膜炎	2 0.00																					0
流行性角結膜炎	123 0.18	1 0.13	1 0.13								1 1.00	1 1.00										54
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1 0.00																					1
クラミジア肺炎																						0
マイコプラズマ肺炎	8 0.02	1 0.10		▽	1 0.50		▽															1
細菌性髄膜炎	9 0.02																					0
無菌性髄膜炎	12 0.03																					0

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核		1		1		※内、第25週追加報告(1)
レジオネラ症		1				
カルバペネム耐性腸内細菌感染症					1	※第25週追加報告分 90日以内の海外渡航歴:不明
梅毒	1					※第24週追加報告分
百日咳				1		ワクチン接種歴:無し

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。
 山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。
 (QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱		8	12	3	4	2									29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎						1		1	1			1			4
感染性胃腸炎		9	17	18	13	14	4	8	6	3	1	10	3	1	107
水痘			1						1	1					3
手足口病		4		1											5
伝染性紅斑															0
突発性発しん	1	6	7			1									15
ヘルパンギーナ				1	2										3
流行性耳下腺炎												1			1

< 令和4年5月 月報 >

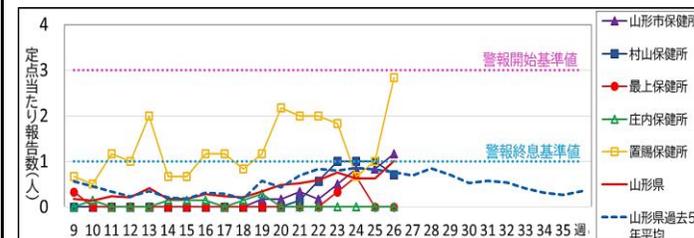
2022年6月15日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)	
	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	10	16	7	10	1			2	1	3	1	1	68
	定点当り	1.00	1.60	2.33	3.33	1.00			2.00	0.50	1.50	0.33	0.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	3	4						2	2	1	2		15
	定点当り	0.30	0.40						1.00	1.00	0.33	0.67		
尖圭コンジローマ	報告数	2	1		1				2					9
	定点当り	0.20	0.10		0.33				1.00					
淋菌感染症	報告数		3		1					1		1		10
	定点当り		0.30		0.33					0.50		0.33		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	2	1	1					1		2	1	16
	定点当り	0.40	0.20	0.50	0.50					0.50		0.67	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	13	7	6	2	1	1	1	1			5	3	67
	定点当り	1.30	0.70	3.00	1.00	0.50	0.50	1.00	1.00			1.67	1.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

<トピックス>

咽頭結膜熱に注意しましょう

県内では、置賜保健所管内を中心に咽頭結膜熱の報告が多くなっています。咽頭結膜熱は、いわゆる夏かぜの一つであり、山形県では6月～7月に報告数が増える傾向がありますので注意が必要です。



咽頭結膜熱 保健所別定点当たり報告数(山形県)

咽頭結膜熱とは

①咽頭結膜熱は、どのような病気？

アデノウイルスの感染により、発熱(38～39度)、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す、小児に多い病気です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。

咽頭結膜熱の症状



②咽頭結膜熱にかからないためにはどうすればいい？

流行時には、流水とせっけんによる手洗い、うがいをしましょう。感染者との密接な接触は避けましょう(タオルなどは別に使いましょう)。衛生を保つため、プールからあがったときは、シャワーを浴び、うがいをしましょう。



③咽頭結膜熱にかかったらどうすればいい？

咽頭結膜熱は高熱が比較的長く(5日前後)続くことがあります。しかし、特別な治療法はありませんが、ほとんど自然に治ります。吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときは早めに医療機関に相談してください。

※出典(一部変更): 厚生労働省HP 咽頭結膜熱について (<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou17/01.html>)